

競輪場をサイクルスポーツの普及拠点として再生

日本写真判定株式会社
総合企画部 吉川智之

～自転車の普及～

車や歩行者が飛び出さない安全な競輪場だからこそ安心して行うことができます。

■補助輪外し教室■



競輪選手指導の補助輪外し教室

■バンクー一般開放■



毎週末に市民の方にバンクーを一般開放しています

■キックバイク走行■



広島競輪場内のサイクルパークにて

■自転車交通教室■

自転車事故が最も死亡者の多い、高齢者を対象に実施しました。「自転車事故の恐ろしさを改めて知ることによって注意しようと思った」と参加者も安全への意識を改めることができました。

競輪場をサイクルスポーツの普及拠点として再生

日本写真判定株式会社
総合企画部 吉川智之

～自転車競技の普及～

今まで競輪選手以外には使用されていなかった競輪場にサイクルクラブ等を通じて市民に一般開放することで、施設価値の向上と健康促進に繋がる運動施設としての機能を持たせました。

■サイクルクラブ/トラックカップ■

月2回以上、幼稚園児から競技志向の方までを対象にクラス分けをして実施しています。



ケリリン競走やタイム計測などを実施



京都競輪でのトラックカップには海外からも参加

■キッズケイリン■



キッズケイリン、主に小学生が参加

競輪場をサイクルスポーツの普及拠点として再生

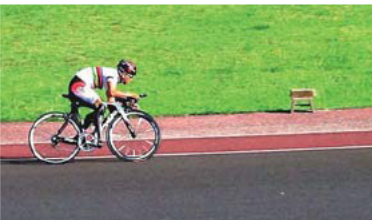
日本写真判定株式会社
総合企画部 吉川智之

～自転車競技の強化～

日本は世界一バンク(競走路)の数が多い国です。この強みを活かし自転車競技の強化を推進しています。

■パラサイクリング ナショナルチームの合宿■

山陽オートレース場にてナショナルチームの合宿を誘致し、リオデジャネイロパラリンピックのメダル獲得(銀メダル×2)に貢献しました。現在も定期的に合宿利用していただいています。



パラサイクリングナショナルチームの練習風景①



パラサイクリングナショナルチームの練習風景②

■ドリームシーカーレーシングチームのサポート■

ドリームシーカーはトレッドチームとしての位置付けで、ナショナルチームとは別に独自に大会へ出場し、各大会でポイントを獲得します。その獲得したポイントはチームが認可を得た(登録された国)、すなわち日本のポイントに加算され、日本の出場枠拡大の貢献をしています。また、より多くの選手が世界の舞台で活躍するチャンスを得ることも可能になります。弊社はそのドリームシーカーレーシングの事務局として全面サポートしています。



【所属メンバー】



新田 祐大 (競輪) 浅井 康太 (競輪) 小林 優香 (競輪) 深谷 知広 (競輪) 和田 真久留 (競輪) 野上 竜太 (競輪) シェーン パーキンス (自転車競技) 西迫 吉祐 (競輪)

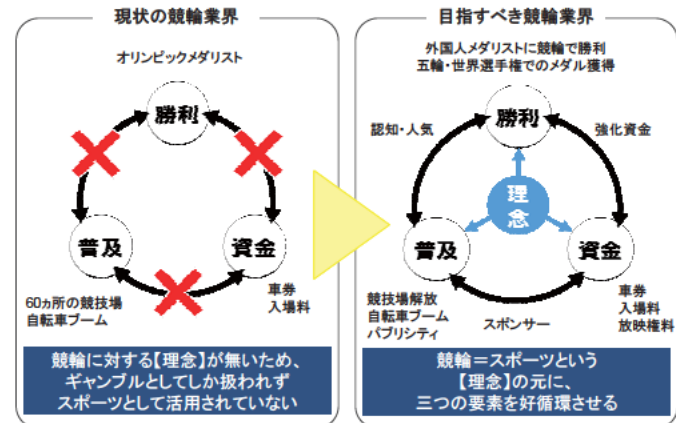
競輪場をサイクルスポーツの普及拠点として再生

日本写真判定株式会社
総合企画部 吉川智之

■スポーツ事業のトリプルミッション

競輪業界は一時的に売上減少に歯止めがかかっているとは言え、大きな流れでは衰退の一途をたどっているのは紛れもない事実です。

では、競輪というコンテンツには魅力がないのか？
弊社は競輪をスポーツ産業ととらえています。スポーツ産業の発展には【理念】のもと、三つの要素『勝利』『資金』『普及』が必要(スポーツのトリプルミッション:早稲田大学平田竹男教授)だとすると、競輪業界は三つの要素とも満たしており、実は競輪は非常に魅力的なコンテンツであると言えるのです。しかし、今の競輪業界には、競輪をスポーツ・スポーツ産業として発展させていく、といった一定の【理念】が欠如しているため、せっかく満たしている三つの要素が好循環せず、衰退してしまっているという状況であります。



■弊社理念

「自転車競技を日本のメジャースポーツに！」
「公営競技で街を元気に！」

サイクルスポーツの普及拠点として競輪場を積極的に多くの市民への開放を行う事で、普及・強化となるだけでなく、市民の健康やスポーツの拠点としての役割も果たせるものと確信しています。ギャンブル場としてしか活用されていなかった公営競技場を、地域住民をはじめとする全ての方のための施設として生まれ変わらせることが、地域及び国内経済/雇用創出/健康増進スポーツ振興への貢献に繋がりが「街が元気になる」、それが当社の公営競技に対する思いです。